

こんにちは

うみ議会 です



宇美小学校創立150周年記念 「プール壁画」作成



歩みだそう!
次の100年



うみくん



みらいちゃん

16ページに関連記事を掲載

新型コロナウイルス感染症対策を行い撮影しています



Koe Meter

声メーター

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から

031

まへじ

- Withコロナ時代にまちに賑わいを ②
- 12月定例会 ④
- 町政を問う 一般質問6人が登壇 ⑦
- 委員会活動報告 ⑭



2023.2.15

No. 88

うみ議会だより
12月定例会

Withコロナ時代に まちに賑わいを

うみまちHOT
TROPICS

新型コロナウイルス感染症の第7波と第8波の合間に、これまでの自粛ムードからまちに賑わいを取り戻そうと、宇美町共働事業をはじめとした多くの事業が行われました。

Withコロナ時代を踏まえ、まちづくり活動をされている方々が、さらに活動しやすくなるよう、支援に取り組んでいきます。

～スポーツならどんな障がいも乗り越えられる～ 第1回宇美町スポーツフェスタ

宇美町スポーツ協会、宇美町スポーツ少年団、ふみの里スポーツクラブ、宇美町スポーツ推進委員連絡協議会の4団体で組織する実行委員会主催の第1回宇美町スポーツフェスタが開かれました。

令和4年11月26日(土)の前夜祭では、宇美太鼓による力強い演奏に引き続き、デフサッカー(聴覚障がい者のサッカー)日本代表GKで、宇美町在住の松元卓巳さんを講師に迎え、スポーツ講演会が行われました。

27日(日)には、デフサッカーとアンプティサッカー(肢体不自由者のサッカー)の体験会・障がいがある方や高齢者も楽しめるボッチャ・風船バレーボール等の軽スポーツ体験交流会も開かれ、参加者は皆さん楽しんでいました。



松元卓巳さんのスポーツ講演会



小さなお子さんも楽しめるシャフルボード



松葉づえで行うアンプティサッカー



松元選手とPKで真剣勝負

宇美神楽が第64回九州地区民俗芸能大会に出場 あなたの手で継承しませんか



宇美神楽保存会のみなさんは、活動を多くの町民の皆様を知っていただき、ぜひ担い手になってほしいと日々活動に取り組んでいます。

昭和48年に福岡県の無形民俗文化財に指定された宇美神楽が、令和4年11月13日(日)に沖縄県浦添市のアイムユニバースてだこホールで開催された、第64回九州地区民俗芸能大会に県代表として出場しました。

宇美神楽は、宇美八幡宮の春の「子安大祭」と秋の「放生会」に、神楽殿で奉納されています。

「つくりば つくるば」でJR宇美駅前広場に賑わいを うみつくる研究所主催

令和4年11月12日(土)に宇美町の「つくる」をテーマにした物・事・食の集いの場「つくりば つくるば」がJR宇美駅前広場で開かれました。

「身近な材料を“うみつくる”の視点で活用してみる」をテーマに、マイクロバスを工房風に改造したスペースでは、子どもたちを対象にしたワークショップも開かれ、多くの子どもたちが木工細工を楽しみました。

宇美町の名物も多数出店され、訪れた皆さんは次の開催を心待ちにされているようでした。



荒廃竹林から切り出した竹を使った露店のテント



射的コーナーで子どもたちも大喜び



出張木工教室ができるウッドワーキングバス

イルミネーションでまちを明るく JR宇美駅前・塔ノ尾公園



宇美駅前のイルミネーション



宇美商業高校生によるシャッターアート

塔ノ尾公園



塔ノ尾公園のイルミネーション

宇美駅前

宇美町商工会主催の『うみ「駅サイティング」クリスマスイルミネーション』が令和4年12月3日(土)に点灯されました。

当日は、おでんやホットワイン、コーヒーなど寒い季節にぴったりの飲食や、おしゃれな雑貨が並ぶ「駅Cafe」が開催されました。

また、駅前飲食店のシャッターに宇美商業高校の生徒が描いた「シャッターアート」も披露されました。

香椎線から降りてきた学生たちから「宇美町独自のほっこりとした輝きに癒される」といった声が聞こえてきました。

また、障子岳地区の塔ノ尾公園には、地元有志によるイルミネーションが輝き、訪れた方々を楽しませていました。



駅カフェ

12月定例会

宇美南町民センター条例を一部改正 毎週日曜日に芝生広場を無料開放

12月定例会は、7日から13日までの7日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は補正予算案をはじめとする16議案が提出され、すべてを原案のとおり可決しました。

一般質問には6議員が9項目について質問しました。また、請願一件を審議しました。

工事請負契約変更

令和4年度宇美町立中央公民館及び宇美町住民福祉センタートイレ改修工事

既設配管の老朽化による増工等に伴い、工事請負額を5599万円から5819万3300円に変更。

(全員賛成で可決)



男性用トイレに乳幼児用おむつ交換台を設置

指定監視者の指定

宇美町働く婦人の家の指定管理者を指定

指定管理者

社会福祉法人

宇美町社会福祉協議会

指定期間

令和5年4月1日から

令和8年3月31日まで

問 女性のキャリアアップ につながる講座の開設

状況は。

直接資格を取得する講座は実施していないが、知見を広げるきっかけづくりや、入り口となるような講座を開設している。

(全員賛成で可決)



しーずうみフェスタで歌声発表

条例

宇美南町民センター条例の一部を改正する条例

子どもたちをはじめ、広く町民の遊び場として利用することを目的に、令和5年4月から宇美南町民センターの芝生広場を毎週日曜日に無料開放する。



芝生広場

問

周知方法は。

答

SNS、宇美町子育て支援アプリ「うみよん」の活用や保育園、幼稚園、

小学校等にもチラシを配布する。

(全員賛成で可決)



宇美町印鑑条例及び宇美町手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードを利用した「らくらく窓口証明書交付サービス」の導入に伴い、同サービスを利用した場合、交付手数料をコンビニ交付手数料と同額の250円とする。

また、導入当初の令和5年1月4日から3月31日まで、証明書1通当たり100円とする。

(全員賛成で可決)

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法改正に伴い、職員の定年が60歳から65歳へ段階的に引き上げられることにより、影響を受ける13の条例の改正と一つの条例を廃止。

(全員賛成で可決)

安心して出産、子育てできる伴走型支援を充実 どこよりも早く事業開始

補正予算

※万円未満四捨五入

舎建て替えに係る経費。

令和4年度一般会計補正予算
(第9号)

答 本事業は、相談支援と経済的支援の2事業から成り立っている。妊娠中や出産・子育て中に何度でも面談し、その時に応じた経済的支援を行うため、届出時に支給する仕組みとはなっていない。

令和4年度一般会計補正予算
(第8号)

◆宇美小学校体育館大規模改修事業
1億4143万円増額

歳入歳出それぞれ3億1725万円を追加。予算総額144億4001万円。
主な補正は次のとおり。

問 当町が、他の自治体よりも先駆けて行う事業になるが、該当する方々への周知方法は、

◆障害児施設給付費
5513万円増額

「のーと宇美」の予約アプリとLINEを連携させるための経費。

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

答 事業内容を1月の広報に掲載し、「子どもを産み育てやすい町・宇美町だからこそ妊娠・出産・子育てを一人で悩まないでください」というメッセージを添えて周知に努めていきたい。

◆オンデマンドバス運行支援業務委託料
148万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

すべての妊婦と子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うため、相談支援の充実を図るとともに妊娠および出産した子育て家庭に経済的な支援を行う。

問 申請による交付となっているが、妊娠届出時や出生届出時に交付することはできないのか。

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

辻荒木他2自治会から広場として利用したいと要望があり、更に都市計画道路となる平成地区広場の代替地としても活用できる町有地を、地域の子どもたちの遊び場等として整備する経費。
(全員賛成で可決)

◆宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

答 コロナ禍の影響で受診控えがあり、その反動によるもの。

◆保育所等整備事業費補助金
6721万円増額

民間化した貴船保育園の園

宇美町 HP 「出産・子育て応援事業」についてはこちら

宇美町から先駆けて

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

「のーと宇美」についてはこちら

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

子どもに係る医療費の一部を保護者に支給することにより、疾病の発見と治療を促進する経費。

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

宇美二丁目地内広場整備工事
1549万円増額

◆産産・子育て応援事業
3312万円増額

◆子ども医療支援経費
1252万円増額

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討論
(請願)「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を国に対し提出する請願書		×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	×	不採択	反対：藤木 賛成：入江

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で承認・可決した議案

議案名	
町道路線の変更	貴船2丁目776番の1の終点を貴船2丁目772番10まで延長および表示の変更
工事請負契約締結の議決内容の一部変更	町立中央公民館及び住民福祉センタートイレ改修工事を施工中、既設配管の老朽化による増工等に伴い、工事請負契約の内容を一部変更
指定管理者の指定	町立働く婦人の家「し〜ず・うみ」の指定管理者を社会福祉法人宇美町社会福祉協議会に指定
宇美南町民センター条例の一部改正	子どもたちをはじめ広く町民の遊び場に供する事を目的として、宇美南町民センターの芝生広場を毎週日曜日無料で開放
宇美町印鑑条例及び手数料条例の一部改正	マイナンバーカードを利用した「らくらく窓口証明書交付サービス」を導入
地方公務員法の一部改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	地方公務員法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、職員の定年等について、所要の規定の整備
令和4年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	132万3000円減額し、予算総額43億3261万6000円
令和4年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入59万2000円増額し、計8億873万1000円 収益的支出1007万4000円増額し、計7億9139万8000円 資本的収入386万円増額し、計6799万6000円
令和4年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入2050万4000円増額し、計9億4670万1000円 収益的支出964万5000円減額し、計8億6841万9000円 資本的収入2079万9000円減額し、計5億5242万1000円 資本的支出869万9000円減額し、計8億7444万9000円
令和4年度 宇美町一般会計補正予算(第8号)	3億1725万円増額し、予算総額144億4000万5000円
宇美町職員の給与に関する条例等の一部改正	人事院の職員の給与の改定に関する勧告に鑑み、職員の給与月額及び勤勉手当の額並びに議会議員、町長、副町長、教育長の期末手当の改定
令和4年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3万5000円増額し、予算総額5億743万3000円
令和4年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	歳出44万6000円増額 国民健康保険財政調整積立基金への積立金で収支の調整を行うため、予算総額43億3261万6000円に変更なし
令和4年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第5号)	収益的支出50万2000円増額し、計7億9190万円
令和4年度 宇美町流域関連公共下水道事業補正予算(第2号)	収益的支出18万2000円増額し、計8億6860万1000円
令和4年度 宇美町一般会計補正予算(第9号)	3872万5000円増額し、予算総額144億7873万円

一般質問 町政を問う6人が登壇!

丸山 康夫 議員 ————— 8P

- ◆シティプロモーションの推進で町を元気に
- ◆深刻な教員不足に町はどうか対応するのか

鳴海 圭矢 議員 ————— 9P

- ◆ICT授業の今後は
- ◆健康保険証とマイナンバーカードの一体化は果たして賢明な政策と言えるのか

入江 政行 議員 ————— 10P

- ◆学校給食費無償化への取組は

黒川 悟 議員 ————— 11P

- ◆災害に対する備えは
- ◆魅力あふれるまちづくりの実現に向けて

安川 禎幸 議員 ————— 12P

- ◆消防団を持続可能な組織にするために

平野 龍彦 議員 ————— 13P

- ◆福岡県にイノシシの緊急捕獲依頼を

井野山山頂からの初日の出

今年も多くの方が初日の出を見ようと、宇美町の日の出スポットである井野山を訪れていました。

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

録画配信しています

各議員の質問のようすを動画でご覧いただけます

シティプロモーションの推進で町を元気に



まるやま やすお
丸山 康夫 議員

答 総合計画を具現化するためにも組織体制を検討したい



録画配信はこちらから ▶

問 当町は、宇美八幡宮や日本遺産の大野城(おのき)跡をはじめ優良な観光資源を有し、また豊かな自然に囲まれた町でもある。

博多駅や博多港・福岡空港からも近く、インバウンド観光客も取り込みたいが、町内ではほとんど見かけない。

当町が行ってきた観光推進事業はどのようなものがあるのか。

答 まちづくり課長 四季に応じた登山会をはじめ、宇美駅を起点に町内を巡るJR九州ウォーキングや町村フェアーへの出展などで広く宇美町をPRしてきた。

問 国や県の補助金を活用して行った観光事業はあるのか。

答 まちづくり課長 補助金を活用して実施した観光事業はないが、県の宿泊税交付金を活用し、一本松公園駐車場ゲート設置工事を実施した。

また、井野山登山口周辺交差点の銘板変更工事を計画している。

問 人口減少を食い止める、町の活力を維持していくために、若い世代の移住・定住政策に力を入れる必要があるが、福岡県移住支援事業を当町でも実施することはできないか。

答 まちづくり課長 三大都市圏からの移住者に対し、最大で100万円が支給される事業で、県75%、町25%を負担する。

三大都市圏からの移住者が少ない当町にとって、他地区から移住される方との不平等感が生じるため、本制度への登録は行っていない。

問 町の情報発信ツールとして、2月からLINEが導入されるが所管部署を変えない限り宝の持ち腐れになるのではないか。

答 総務課長 現在、総務課の情報管理係で広報紙を編集、情報発信のセキュリティ管理を行っている。当課としても戦略的、積極的な情報発信の必要性を感じている。

問 ふるさと納税応援金、ふるさと応援寄附金のPRポスターカードを作成し、広く配布している。また、東京モノレールや千葉県を走るアーバンクライムに車内広

ふるさと応援寄附金 PRポスターカード

告を出している。

問 町の優良な観光資源を生かし、情報発信と移住・定住の促進、町の活性化事業を組み合わせた「シティプロモーション推進室」の設置を提案したいが、見解は。

答 副町長 次期総合計画の策定と併せて、どのような組織体制が望ましいかしっかり検討していきたい。

.....

.....
 深刻な教員不足に町はどう対応するのか
 町独自の支援策強化を進めるべきでは、

I C T 授業の今後は

答 これまでの授業の良さと I C T 教材の利点を融合



なるみ けいや
鳴海 圭矢 議員



◀ 録画配信はこちらから

問 コロナ禍の影響でオンライン授業が取り組まれているが、当町の実態は。

また、I C T 支援要員は何名いるか。

答 学校教育課長

新型コロナウイルス等の感染者・濃厚接触者については、保護者にオンライン授業の視聴を提案している。

冬季休業期間中はタブレットを持ち帰り、朝の会や課題の配布、生活状況アンケートなどを行う予定である。

I C T 支援要員については2名いる。

問 I C T 支援要員は各校に最低でも1人配置する必要があるのではないか。

答 学校教育課長

各学校から支援員が不足しているという報告は上がっていないが、課題も山積しており、相談・支援体制を整えていく必要があると思う。

問 今後、タブレットでテストや採点も行われるようになると思われる。

児童生徒のさまざまなデータが管理されることになると思うが、セキュリティ対策はどのように講じられているのか。

答 学校教育課長

業務委託している業者によって、物理的に情報漏洩や不正アクセス等が起きないように努めている。

問 視力の低下など健康や生活に与える影響が危惧されるが、健康面への配慮は。

答 学校教育課長

タブレットと目の距離感を指導し、連続使用をしないように配慮している。

また、情報端末が脳や目に与える影響等についての掲示物や、文部科学省の資料等により啓発している。

タブレットを持ち帰

る場合も学校通信や P T A が作成したリーフレット、視力低下に関わるガイドブックを配布するなど各家庭での使用について注意喚起している。

問 I C T 教材には良い面もあるが、実際の学習効果については慎重に見ていく必要があると思う。

最新の研究や子どもの成長発展にどのような成果があるのか、現場の意見も含めて検討する必要があると思うが見解は。

答 教育長

令和元年に始まった G I G A スクール構想により、令和2年度に環境が整備され、昨年度から本格的に取組が始まったところで、教育効果の検証までには至っていない。

全ての授業で無理やりタブレットを使うというのではなく、これまでの授業の良さと I C



タブレット端末を使った授業

T 教材の利点を融合させながら新しい授業の在り方を作り出していくよう、学校に指導や支援をしている。

現在、学校訪問時の授業参観やアンケート等により学校現場の実態把握に努めている。

健康保険証とマイナンバーカードの一体化は果たして賢明な政策と言えるのか。

学校給食費無償化への取組は

答 現時点では給食費無償化の予定はない



いり え まさゆき
入江 政行 議員



録画配信はこちらから ▶

問 コロナ禍における物価高騰などにより、生活が困窮する家庭が増える中で、「親が給食費を払えない」「朝ごはんを食べられない子もいる」という状況である。

学校給食は、かけがえのない役割を果たしているが、子どもの7人に1人が貧困状態と言われており、給食費が重い負担となっている。

町は、保護者の負担軽減のために、給食費無償化実現の考えは。

答 学校教育課長

現在、給食費無償化についての協議は行っていないが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などによる物価高騰は、生活困窮状態にある保護者のみならず、町民にも負担増となっている。

このため、町は、給食費を一定期間減免することや生活応援商品券を配布するなど、町民の方々への負担軽減に努めている。

問 子どもを育てることとは、未来の日本を支える人材を育てることであり、社会全体で支えていく必要がある。

なかでも「食」は重要であり、将来にわたり健康であり続けるための礎となり、食の環境を整えることにより地域活性化につながる。

そこで、少子化対策、子育て支援、他町からの移住を促進するためにも、給食費無償化への取組を行っている。

答 学校教育課長

給食費無償化を行えば少子化対策、子育て支援などの地域活性化に十分つながる政策になると思う。

しかしながら、給食については、中学校は選択制の弁当給食の方向性、小学校は給食施設の管理問題、また、財政面では、年間1億7千万円程度必要である。

このため、現時点では、給食費無償化の予定はない。

問 教育基本法第5条では、授業料を徴収しないこととされている。当初は自己負担を求められていた教科書についても、教科書無償措置法等により無償化された。

学校給食は、児童および生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童および生徒の食に関する正しい理解と適切な判断を養う上で重要な役割を果たす。憲法第26条に「義務教育は無償とする」とあり、自治体が給食費を補助

することを学校給食法は否定していないため、無償化は可能ではないかと思うが見解を。

答 学校教育課長

憲法第26条第2項において義務教育はこれ無償とするとなっている。最高裁の判例では、無償というのは、授業料のことであると解釈されている。

このため、無償化することは可能であると考えるが、さまざまな課題があるため、現時点において当町では、給食費無償化の予定はない。



中学校の弁当給食



小学校の給食



くろかわ さとる
黒川 悟 議員

災害に対する備えは

答 地域防災力の強化に取り組む



録画配信はこちらから

問 町の災害に対する備蓄倉庫の状況は。

答 危機管理課長
県備蓄基本計画を参考に水、食料、粉ミルク、生理用品等を備えている。

大規模災害等で備蓄品が不足した場合は、県内市町村間の相互応援に関する基本協定を締結しており、物資の提供を県に要請し対応する。

問 断水時の対策は。

答 上下水道課長
福岡都市圏水道災害時相互応援に関する協定書に基づき、円滑に実施する。

また、非常時の応急用給水として、一本松公園にある河原のしずくの活用も行う。

問 町のインクルーシブ防災の対策は。

答 健康福祉課長
要介護認定や障がい者手帳等の情報を基に調査を行い、避難行動

要支援者名簿を作成。

今後は、個別避難計画を作成し、同意が得られた方の情報を自治会や関係団体と共有し連携する。

また、障がい者等の避難については、遠隔手話通訳を行うためのタブレットを各避難所に設置し、福祉避難所として協力を得られないか町内の福祉施設と協議を行っている。

インクルーシブ防災とは
障がい者を含むあらゆる人の命を支えようという防災の考え方のこと。

問 災害時、地域の助け合いは大きな力となるが、自主防災組織の活性化は。

答 危機管理課長
自治会・校区コミュニティ単位で防災会議を今年度16回以上開催し、自主防災組織の設

置に向けて検討を進めている。

また、人材確保・育成は不可欠で、重要な役割である防災士の取得に補助を出している。

引き続き災害意識の向上を図り、地域防災力の強化に取り組んでいきたい。

魅力あふれるまちづくりの実現に向けて

問 飲食店等の地元事業者は、長引くコロナ禍で厳しい経営状況が懸念されるが、町の対応は。

答 まちづくり課長
来年度以降の交付金等の情報は入っていないが、今後の状況を注視しながら対策を検討したい。

町民の生活を支えるため、宇美生活応援商品券の発行に当たっては、財政調整基金を1億1千万円取り崩し実施した。

問 地域の事業者が共同で開発した商品が人など、地域の事業者の活躍を後押しできないか。

今後も情勢を注視し、タイムリーな支援策を実施していく。

答 まちづくり課長

新商品が開発されたときは、ふるさと納税の返礼品だけでなく、さまざまなイベントで商品を販売するなど、周知できる機会を設けることは大切な取組と考える。

問 コロナ対策の総括と今後の取組について、町長の見解は。

答 町長
令和2年以降、交付金を活用しながら、優先すべきことを職員とともに考え、スピード感を持って対応してきた。

町民の生活を支えるため、宇美生活応援商品券の発行に当たっては、財政調整基金を1億1千万円取り崩し実施した。

今後も情勢を注視し、タイムリーな支援策を実施していく。

消防団を持続可能な組織にするために

答 「消防団を考える会議」を設置して発展的な議論を



やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員



録画配信はこちらから ▶

問 自主防災組織の結成・活動の状況は。

答 危機管理課長
現在9自治会で結成。活動内容は、防災会議、防災訓練等を地域で行っている。

問 地域防災における消防団と自主防災組織の位置付けは。

答 危機管理課長
宇美町地域防災計画に含まれる自主防災組織整備計画の中で、消防団と自主防災組織はお互いに協力し合う組織として位置付けしている。

問 団員数の状況は。

答 危機管理課長
全国的に団員数が減少している。福岡県では10年前と比較して19分団、235人減少している。当町の令和4年団員数は、条例定数197人に対して団員数144人で毎年減少している。

問 団員確保の対策と加入の勧奨は。

答 危機管理課長
うみ広報、PRチラシ、SNSでの紹介などで団員募集を行っている。各分団でもそれぞれ工夫しながら勧奨を行っている。過去には防災フェスタ等を実施したが、今後も様々な場面で消防団のPRや勧奨を行いたい。



消防団出初式

問 第6次総合計画後期実践計画の中で「機能別消防団員の検討を進める」とある。機能別消防団員とは何か、またその検討状況は。

答 危機管理課長
機能別消防団員とは、能力や事情に応じて特定の活動を行う消防団員を指す。女性、消防団OB等が対象となり消防団活動を補完する役割が期待される。引き続き検討していきたい。

問 子どもに対する防災教育や啓発の状況は。

答 危機管理課長
消防団では地域のイベント等を通じてPRを行っている。小中学校では防災教育、町立保育園では幼年消防クラブなどさまざまな場面で啓発を行っている。

問 今後、消防団を継続可能な組織にするため、現役の消防関係者や、地域の方、町の関係者に

よる「今後の消防団を考える会議」を設置してはどうか。

答 町長
この中で自主防災組織と消防団の連携や団員確保の問題、今後の人口減少を見据えた団員の定数等について議論を行い町に提言をするような機関にしてはどうか。

消防団は発災時には消火活動、警戒活動、救助活動等を行うとともに、平常時においても火災予防啓蒙活動等を行っており、その重要性は理解している。団員数は定員割れの状況が続いており、年々減少している。消防団を継続維持していくためには「今後の消防団を考える会議」の設置は非常に有効であるかと考える。

現役消防団員やOBの方、地域の方々などの知恵を集結させ、発展的な議論ができれば素晴らしいと思う。



ひらの たつひこ 平野 龍彦 議員



録画配信はこちらから

福岡県にイノシシの緊急捕獲依頼を

答 必要に応じて県へ依頼する

問 イノシシ被害は農業地域に限らず住宅街まで拡大している。周辺自治体の過去5年間の捕獲頭数は。

答 環境農林課長
捕獲頭数は以下。

・宇美町	… 279頭
・粕屋地区鳥獣被害防止対策協議会 (篠栗町・須恵町・久山町・粕屋町・新宮町)	… 1364頭
・太宰府市	… 1164頭

問 イノシシと車両との激突事故が発生しているが、被害防止の具体的な取組は。

答 環境農林課長

猟友会に委託し、銃器や箱罠による捕獲活動をしている。

問 農水省は令和5年度に、イノシシの個体数を半減する方針だが、当

問 町は達成できるのか。

答 環境農林課長

目標に近づけるよう猟友会と連携し、1頭でも多く捕獲する。

問 県は農業者に限り狩猟者登録の撤廃を公表したが、農業者に周知すべきでは。

答 環境農林課長

猟友会を通じて農業者へ周知する。

問 当町で困い罠を導入できないか。

答 環境農林課長

農業者と宇美町鳥獣被害防止対策協議会と協議の上、調査研究する。

問 鳥獣被害防止計画は公開しているのか。

答 環境農林課長

計画は3年ごとに見直し、12月上旬に町ホームページで公開した。

問 国の鳥獣被害防止総合対策交付金の活用状況は。

答 環境農林課長

過去5年間の活用実績は箱罠18台や捕獲機材を購入した。

問 被害防止対策には、専門職員や地域おこし協力隊を配置すべきでは。

答 環境農林課長

専門職員の配置には至っていない。地域おこし協力隊については調査研究する。

問 国は広域捕獲を推奨しているが、粕屋地区鳥獣被害防止対策協議会へ参加すべきでは。

答 環境農林課長

参加は考えていないが、地域の実態に即した被害防止対策を進める。

問 イノシシ出没時は、防災無線で周知し、人的被害の未然防止を。

答 環境農林課長

関係部署と適宜協議し周知を図る。

問 被害が収まらない自治体からの要請があれば、県は自治体に代わり緊急捕獲することになっているが、県へ依頼すべきでは。

答 環境農林課長

必要に応じて県へ依頼する。

問 農業被害に限らず人身事故も発生しているため「宇美町イノシシ被害防止対策特別宣言」を出し、人的被害を出さない安心安全なまちづくりを図るべきでは。

答 町長

特別宣言は考えていないが、猟友会や関係機関と協力しながら、粘り強く被害防止に当たる。

宇美町鳥獣被害防止計画はこちら



Topics

中心市街地での火災を想定/宇美町消防団秋の防火演習を視察

令和4年11月13日(日)に宇美町消防団による秋の防火演習が行われ、当委員会が視察した。

北九州市の中心市街地にある旦過市場では、二度の大規模火災が発生し、大きな被害が出た。

今回の防火演習では、宇美町の中心市街地である上宇美商店街での火災発生を想定し、複数の水利を使って防火演習を行った。

消防団幹部からの的確な指示のもと、交通誘導や、水利から火点までの連携もスムーズに行われた。

議会も、町民の生命と財産を守る宇美町消防団が活動しやすいよう、また団員が増えるようしっかり支援していく。



▲ 県道にブリッジを設置しホースを通す



◀ 消火計画を立てる団長・副団長



Topics

読みやすい議会だよりを目指して



令和4年11月21日(月)に福岡県自治会館で、福岡県町村議会議長会主催による「町村議会広報研修会」が開かれた。

コロナ禍に配慮した研修会だったが、各町の議会広報クリニックも行われ、『こんにちは“うみ議会です”』もしっかり評価された。

指摘された改善点を、今後の編集に生かしていきたいと思う。

これからも「まずは手にとって読んでいただける議会広報」をコンセプトに、より良い議会広報を目指して取り組んでいく。

Topics いよいよ オンデマンドバス「のるーと宇美」の発進で～す♪

令和5年1月29日(日)にうみ・みらい館でAIオンデマンドバス「のるーと宇美」運行開始記念式典が開催された。

町は、現在運行中のハピネス号の運行形態を見直しながら、地域交通の確保に努めてきた。しかし、利用者の減少に伴い経費が増大となるなど課題も多くあり、抜本的に見直した結果、オンデマンドバス導入を決定した。

当委員会では、令和3年7月に先行して導入している宗像市を視察するなど、オンデマンドバス導入について調査・研究を行った。

「のるーと宇美」は令和5年2月1日より4台で運行開始し、乗降場所は179カ所設置。

なお、ハピネス号については令和5年3月末まで運行される。

「のるーと宇美」が多くの方に利用され、地域に根差したバスになるよう期待する。



ばってんジャーも登場



(議員の声)

- ・マイカー休養日をつくってオンデマンドバスにのるーと!
- ・「のるーと宇美」は一度慣れれば使いやすいと思います。
- ・いつでもどこでも利用することができます。1人でも多くの方にこの便利さを知ってもらえればと思います。
- ・明日の宇美町の住民の足になることを期待します。

専用アプリ・LINEで予約(24時間受付)

※ご乗車の7日前から乗車直前まで予約可能



宇美町公式
LINEアカウント



AppleとAppleのロゴは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

お電話で予約(7日前から予約受付)

※受付時間 月-金 9:00~17:00 (土日祝の電話予約は不可)

☎ 0263-31-6559 (予約専用)

- ・初回予約時に会員登録を行います。
- ・外出先でも連絡可能な携帯電話でのご登録、お電話をお願いします。

1/25から
予約可能

議会広報

インタビューシリーズ 第7弾

表紙にも掲載しています

子どもたちの笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てていきます

障害福祉サービス事業所 PICFA(ピクファ)



PICFAは佐賀県基山町にある障がい者施設で、アート活動を仕事にしています。これまでに、オリジナルグッズの作成や企業のグッズデザインなどに取り組んでいます。

令和4年12月16日に プール横のフェンスに設置



校長「これまでコロナの影響で学外の人を招いたイベントができなかった。150年という節目にこのようなイベントが多くの方の参加で実現できたことを光栄に思います」

宇美小学校創立150周年記念事業 「プール壁画」

創立150周年を迎える宇美小学校では『医療法人 清明会 障害福祉サービス事業所PICFA(ピクファ)』と一緒に、児童・保護者・宇美中学校生徒・地域住民の皆さんが参加し壁画を制作しました。

参加者は、それぞれの好きな色で思い思いの丸を描き、それらを素材としてデザインされた壁画をプール横のフェンスに設置しました。

思い思いの絵をのびのび描いたよ



児童「みんなと力を合わせる作業がとても楽しかった」「丸を描くのが難しかったけど、だんだんうまく描けるようになった」
保護者「子どもは枠に縛られず自由に描いていて良かった」

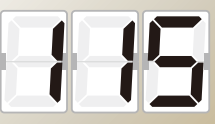


◇発行・福岡県宇美町議会
◇編集・議会広報常任委員会
◇印刷・松影堂印刷株
◇発行日・令和5年2月15日

〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号
TEL 092-934-2248 FAX 092-936-2281
E-Mail gikai@town.umi.lg.jp

議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計▶ 12月定例会 傍聴者 21人



【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

- 委員長 丸山 康夫
- 副委員長 鳴海 圭矢
- 委員 入江 政行
- 委員 高橋 紳章
- 委員 安川 禎幸
- 委員 小林 孝昭



議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。

町ホームページからは本会議の生中継がご覧いただけます。

傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名を記入下さい。

次回の議会は
3月7日に開会予定です。